

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 名張市	対談項目1 地域福祉教育総合支援システムの構築について		<p>社会保障を持続可能なものにするかが課題となっています。現在、社会保障の給付額は117兆円で、2025年には150兆円になると言われますが、人口減少が進む中、このことを前提に社会保障やまちづくりを行っていかねばなりません。また、高齢化が更に進むため、生涯現役の社会、女性が社会参加していける社会をつくっていく必要があります。</p> <p>このような状況の中で、社会保障制度を持続可能なものにしていくための取組が地域福祉教育総合支援システムです。</p> <p>このシステムには、福祉部門だけでなく、子育てや教育についても市民全体で行っていかねばならないと考えているため、盛り込んでいます。また、いじめや貧困対策も市民・地域全体で取り組まねばならないと考えています。</p> <p>そこで、今後、地域福祉教育総合支援システムを起動させていくにあたり、児童相談所や総合教育センター、保健所等、県機関の協力をお願いします。</p> <p>また、11月13日に開催するキックオフ大会には、知事に出席いただきたいと思っています。</p>	<p>日本の福祉行政は、高齢者、子ども、障がい者等の対象者別に専門化されており、また、何かが起こってから対応するという在り方ですが、地域福祉教育総合支援システムでは、ワンストップで、かつ危機を未然に防止するための対策がとれることが画期的なところだと思います。</p> <p>例えば、子どもの貧困の原因は1つだけではなく、複合的であることから、これまでの福祉行政であれば、要因ごとの専門機関が、個別に解決しなければならなかったものが、名張市の地域福祉教育総合支援システムでは、家族に焦点をあて、ワンストップで対応できる仕組みになると思います。</p> <p>また、家族が断絶することを未然に防ぐためのプログラムの実施により、虐待等の危機を未然に防止することもできると考えられます。</p> <p>県の児童相談所、警察、女性相談所、性暴力被害者支援センター等の県機関も協力していきたいと思っています。</p> <p>なお、キックオフ大会については、時間調整を行い参加できるようにしたいと思っています。</p>
2 名張市	対談項目2 日本一の健康県に向けての取組について		<p>企業が行っているがん検診の受診率が把握しづらいため、県で調査をしていただきたいと思っています。</p> <p>全国健康寿命が男性70歳、女性74歳に対して、名張市は男性79歳、女性81歳であり、肝臓疾患、脳卒中、心筋梗塞の死亡率は、全国平均、三重県平均を共に下回っています。また、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の一人あたり給付額も、全国平均、三重県平均より低い水準となっています。</p> <p>一方で、がんの死亡率は高齢化率が高まるにつれて高まってきていることから、がんでの死亡を抑制していくために、がん検診の受診率を上げていく必要があります。県も一緒に取り組んでいただきたいと思っています。</p>	<p>企業が行っているがん検診の受診率については、状況を把握する体制を構築できていないことから、国全体で正確ながん検診受診率が把握できない状況にあります。</p> <p>平成27年12月に厚生労働省が公表した「がん対策加速化プラン」では、職域で行われているがん検診についての実態把握や目標値の設定、ガイドラインの策定等を実施することとなっていることから、国の動向を把握して、職域におけるがん検診を把握できる取組を行っていきたくと思っています。</p> <p>県では、平成26年4月に策定した「三重県がん対策推進条例」により、がん教育やがん患者の就労支援を行ってきたところです。家族のためにもがん検診を受診してほしいと考えていますので、自分のこととして考えていただけるよう、取り組んでいきたいと思っています。</p>
3 名張市	対談項目2 日本一の健康県に向けての取組について		<p>現在、県では子育てクーポンやみえ食旅パスポートの取組を進められていますが、その健康バージョンとして、ヘルスケアポイント制度を三重県下で展開していただきたいと思っています。</p> <p>名張市でも独自に取り組んでいます。限定的であり、全県下で展開できれば、もっと効果が発揮されるだろうし、企業等も巻き込んでやっていかねばならないと思っています。</p> <p>今後の社会保障制度を持続可能なものにしていくには改革が必要ですが、その1つとして、国民健康保険制度を維持するために、地域保健を作り上げていかねばなりません。</p> <p>いま、平成30年4月から国民健康保険を都道府県化に向けた協議が進められていますが、県と市町の共通の課題は、給付の抑制であり、それは即ち健康づくりです。健康づくりに一丸となって取り組むことで、三重県が健康県となっていけばと思っていますので、ヘルスケアポイント制度が広がるよう、取り組んでいただきたい。</p> <p>まずは名張市で半年間、取り組んでみようと思っていますので、また、県とも協議していきたいと思っています。</p>	<p>県の財政で支出が伸びているのは社会保障費であり、特に介護や医療の給付費が増えています。</p> <p>社会保障の給付費を抑制していくことは重要な視点であり、そのためには日頃からの予防が大切であることから、既存の仕組みを活用することも含めて、検討していきたいと思っておりますし、市町の皆さんと一緒に取り組むことが大切だと考えます。</p>